

08年10月9日ヨーク郡警察ニュース

JSS 和訳

歩行者安全のための忘備録

秋のからりと晴れた陽気がやってくると、多くの皆さん方が外を歩く、ないしはエクササイズする機会が増えるため、郡警察は皆さんが安全について忘れないようにと願っています。

ヨーク郡警察は、教育と取り締まりを通じて、郡内の道路での歩行者の怪我や死亡を減らすことに取り組んでいます。多くの歩行者事故は防ぐことができるものであり、歩行者安全の基本のルールを守ることが、毎年起きている事故の数を減らすことにつながります。

歩行者は以下の、安全のための心得を忘れないようにしてください。

- ・ 横断は、横断歩道か信号のある交差点で。道路わきに駐車した車の間から車道に出て横断しないこと。
- ・ 道路を渡る前に車を運転している人と目を合わせ、自分を見せよう。
- ・ 交差点では、車が完全に止まってから渡ろう。
- ・ 信号が青になったらすぐに渡ろう。「渡るな(Don't walk)」が点滅、ないしは信号が黄色になってから渡り始めないこと。赤信号では決して渡らないこと。
- ・ 交差点では曲がってくる、またドライブウェイに入る、ないしは出てくる車に注意。
- ・ 薄暗がりや暗いところでは明るい色のものを着るか、反射ステッカーを使おう。
- ・ イヤーフोनをつけたまま、または携帯電話で話していると、歩行者の注意が散漫になる。
- ・ 周囲の状況によっては、歩行者は運転

者から確認しにくいことがままあることを理解しよう。

- ・ 歩道の内側、歩道がない場合はできる限り道路の端を歩こう。
- ・ 縁石がない場合、歩道が交差点にかかる前に一旦止まって、車に注意しよう。

更に詳しい情報はヨーク郡警察交通局(電話 1-866-876-5423, ext. 7703, または e-mail traffic@yrp.ca.)に問い合わせられたい。

JSS 説明

警察の発表をみていると、歩行者事故の多くは横断歩道以外での道路横断時に起きている。もちろん、横断歩道内で起きる、ないしは無謀運転が原因である場合も少なくないが、記事にもあるとおり、歩行者が注意することで防げるケースは少なくないと思われる。

記事に列挙された安全のための心得を、自分の日常を思い出しながら熟読、実行したい。また、特に子供たちに、注意を呼びかける必要がある。